

# 多摩都市モノレール延伸 (上北台～箱根ヶ崎)に係る 関係市町のまちづくりについて

武  
東  
瑞

蔵  
大

村  
穂

山  
和

市  
市  
町

ただ今から、関係市町(しちょう)のまちづくりについて、説明いたします。

## 説明の概要

- 1 都市計画案(武蔵村山市決定)について
  - ・ (仮称)No.3駅の駅前広場整備について
  - ・ 都市計画案の概要等
  
- 2 関係市町のまちづくりについて
  - ・ 武蔵村山市のまちづくりについて
  - ・ 東大和市のまちづくりについて
  - ・ 瑞穂町のまちづくりについて

説明は、武蔵村山市決定の都市計画案について  
関係市町(しちょう)のまちづくりについて  
の順に説明いたします。

# 1 都市計画案について(武蔵村山市決定)

はじめに、武蔵村山市の都市計画案について、説明いたします

。

## (仮称)No.3駅の駅前広場整備について

まず、仮称No.3駅の駅前広場計画について説明いたします。

## (仮称)No.3駅の駅前広場整備について



武蔵村山市では、多摩都市モノレールの延伸に合わせ、仮称No.3駅の南側に、交通広場である駅前広場を整備します。

## (仮称)No.3駅の駅前広場整備について



計画地は、新青梅街道と立川都市計画道路7・4・2号榎本町(えのきほんまち)線の交差点部分に位置する市有地で、面積は約2,500㎡(へいほうめーとる)になります。

## 都市計画案の概要等(武蔵村山市)

次に、仮称No.3駅の駅前広場に係る都市計画案の概要等(など)について説明いたします。

## 都市計画案の概要(武蔵村山市)



駅前広場は、武蔵村山市榎3丁目地内の南北道路である立川都市計画道路7・4・2号榎本町(えのきほんまち)線に、交通広場として追加します。



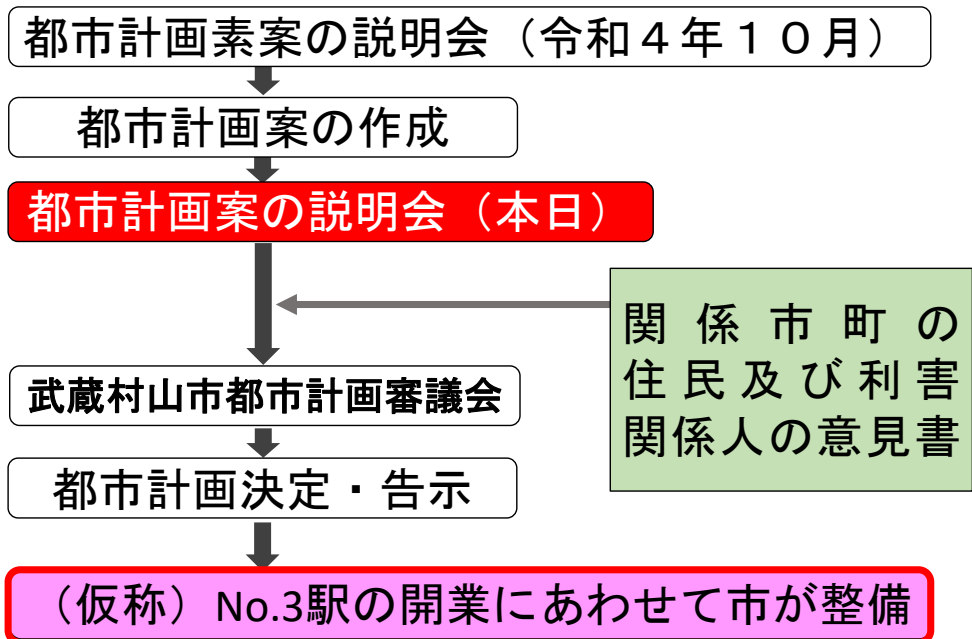
## 駅前広場の整備イメージ

(仮称)No. 3駅駅前広場



こちらは、仮称No.3駅駅前広場の完成イメージになります。

## 今後の流れ(武蔵村山市決定)



19

都市計画の手続きについては、多摩都市モノレール延伸計画の  
手続きと同時に進めていくことになります。

都市計画決定が行われたあとは、仮称No.3駅の開業にあわせて  
市が駅前広場の整備を行います。

# 都市計画案の縦覧及び意見書の提出について

## 都市計画案の縦覧及び意見書の提出について

### 都市計画案の名称

立川都市計画道路 7・4・2号 榎本町線

### 縦覧期間及び時間

令和5年12月14日(木) ～ 令和5年12月28日(木)  
8:30～17:00 (土曜日、日曜日、祝日を除く)

### 縦覧場所

武蔵村山市 都市整備部 都市計画課 武蔵村山市役所2階東側

### 意見書の提出先

武蔵村山市 都市整備部 都市計画課  
〒208-8501 武蔵村山市本町1-1-1 武蔵村山市役所2階東側  
TEL: 042-565-1111 (内線279)

### 意見書の提出期限

令和5年12月28日(木) (持参) 17時00分 (郵送) 消印有効

意見書には、①住所・氏名・電話番号、②意見を提出する都市計画案の名称、③都市計画案に関する意見を記入し、期限内に持参又は郵送(消印有効)によりご提出ください。(任意様式)

ただ今説明させていただいた仮称No.3駅駅前広場に関する都市計画案について、令和5年12月14日(木)から令和5年12月28日(木)まで、武蔵村山市役所都市整備部都市計画課の窓口において、縦覧を行います。

また、こちらの都市計画案に対しまして、関係市町の住民及び利害関係人の方は意見書を提出することができます。

意見書の提出先も同様に、武蔵村山市役所都市整備部都市計画課になります。

## 2 関係市町のまちづくりについて

次に、関係市町のまちづくりについて、説明いたします。

## 武蔵村山市のまちづくりについて

はじめに、武蔵村山市のまちづくりについて説明いたします。

## 武蔵村山市のまちづくりについて 【(仮称)No.1駅の駅前広場】



武蔵村山市内には、仮称No.1駅から仮称No.5駅までの5つの駅が整備される予定です。

先ほど仮称No.3駅の南側に駅前広場を整備する計画について説明いたしましたが、仮称No.1駅の南側にも駅前広場を整備する予定です。

■(仮称)No.1駅前広場整備イメージ図



本駅前広場の位置及び面積等については、都営村山団地の建替事業により創出される用地の土地利用に合わせて今後検討してまいります。

## 駅前広場の整備イメージ

(仮称)No. 1 駅駅前広場



この整備イメージは検討中のものであり、今後変更する可能性があります。

こちらは、仮称No.1駅駅前広場の完成イメージになります。



## 武蔵村山市のまちづくりについて【沿線のまちづくり】

### ■沿線のまちづくりの進め方

令和4年度

市民意向調査アンケート（令和4年11月～令和5年1月実施）

令和5年度

市民ワークショップ（令和5年6月～7月開催）等

### ■「多摩都市モノレール新駅周辺の将来像を考える」市民ワークショップ

沿線のまちづくりを進めるにあたっては、目指すべきまちの将来像を明確にし、共有しておくことが重要であることから、まちの将来像等について話し合うワークショップを開催しました。

東地域、中央地域、西地域の3つの地域に分かれ、各地域10人程度の方に参加いただき、ワークショップ形式で駅周辺の**将来像**や**イメージ図**等について話し合っていました。



第3回市民ワークショップの開催状況

ワークショップにおいていただいた意見の全体は、武蔵村山市のホームページよりご確認ください。

武蔵村山市におきましては、モノレールの延伸を見据えて沿線及び駅周辺のまちづくりを進めています。

令和4年度は、市民の皆様や新駅の利用予定者を対象に、新駅周辺のまちづくりに関する意向調査アンケートを実施しました。

また、令和5年の6月から7月にかけて、市民ワークショップを開催しました。

お集まりいただいた方に、新駅周辺の将来像やイメージ図などについて、ワークショップ形式で話し合っていました。

ここで、市民ワークショップにおいて作成した駅周辺の将来像やイメージ図、及び、まちづくりの方向性について説明いたします。

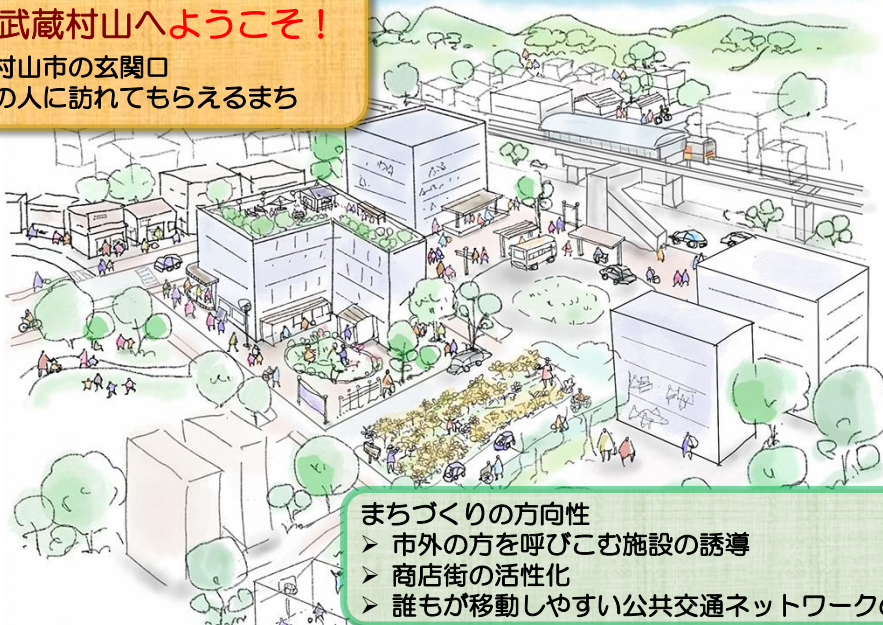
## 武蔵村山市のまちづくりについて 【沿線のまちづくり】

(市民ワークショップにおける意見)

(仮称) No. 1 駅周辺

**“あの” 武蔵村山へようこそ!**

- 武蔵村山市の玄関口
- 多くの人に訪れてもらえるまち



まちづくりの方向性

- 市外の方を呼びこむ施設の誘導
- 商店街の活性化
- 誰もが移動しやすい公共交通ネットワークの形成

※本イメージ図は将来的な建築物や道路等の配置を示すものではありません。

仮称No.1駅については、武蔵村山市の中で最も都心寄りに位置する駅であり、市の玄関口にあたることから、多くの人に訪れてもらえるまちを目指したほうが良いという意見などをいただきました。

これを踏まえまして、将来像のキャッチフレーズは、「あの武蔵村山へようこそ」と、とりまとめました。

これに対するまちづくりの方向性としては、市外の方を呼びこむ施設の誘導を図ることなどを想定しています。

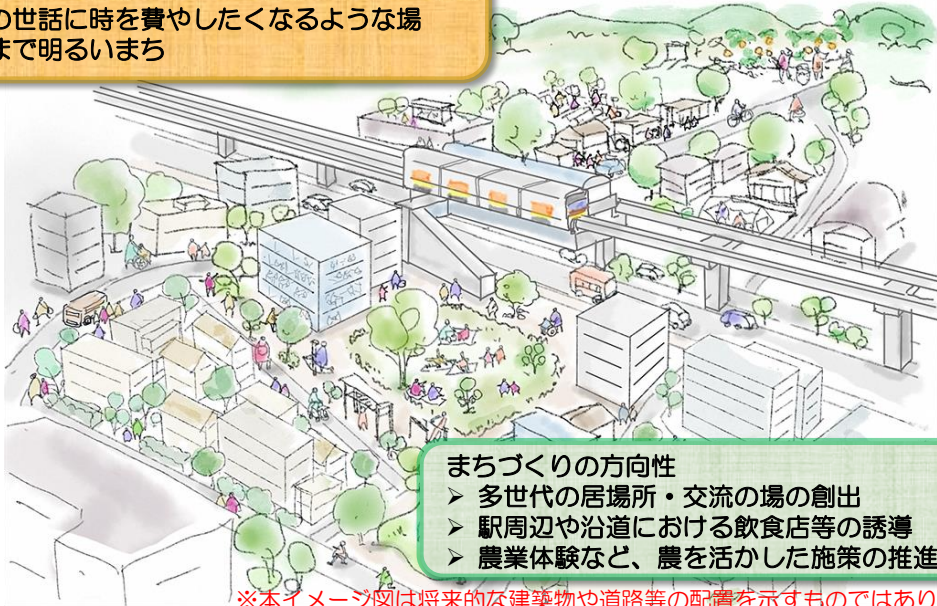
## 武蔵村山市のまちづくりについて 【沿線のまちづくり】

(市民ワークショップにおける意見)

### おせっかいがつなぐ灯(あか)るいまち

- 人の世話を時を費やしたくなるような場
- 夜まで明るいまち

(仮称) No. 2 駅周辺



※本イメージ図は将来的な建築物や道路等の配置を示すものではありません。

19

仮称No.2駅については、周辺に多い農地を活かした農業体験や、学校帰り・仕事帰りの人が集まる場を通じて、人の世話を時を費やしたくなるような場になってほしいという意見や、夜も明るいまちになってほしいという意見をいただきました。

これを踏まえまして、将来像のキャッチフレーズは、「おせっかいがつなぐ灯(あか)るいまち」と、とりまとめました。

これに対するまちづくりの方向性としては、多世代の方が交流する場の創出を図ることなどを想定しています。

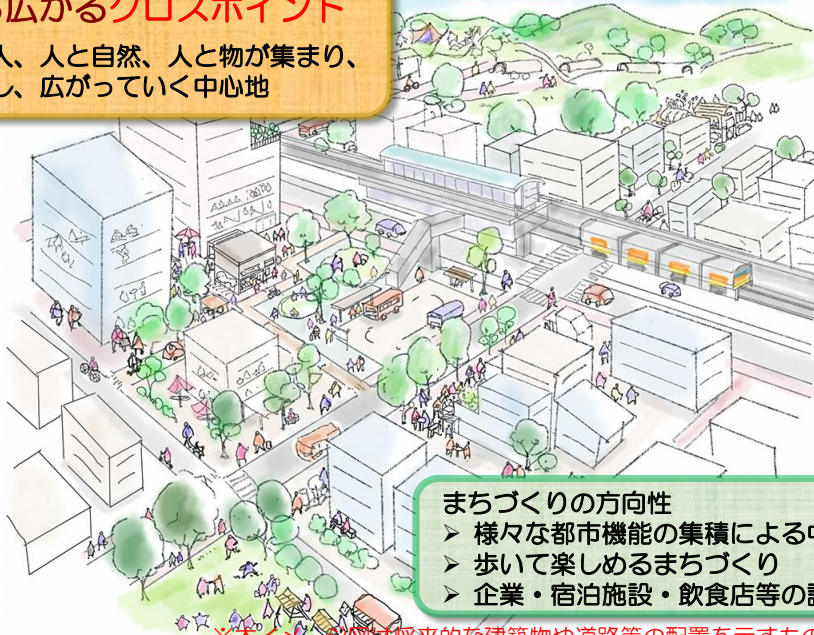
## 武蔵村山市のまちづくりについて 【沿線のまちづくり】

(市民ワークショップにおける意見)

### ここから広がるクロスポイント

- 人と人、人と自然、人と物が集まり、交差し、広がっていく中心地

(仮称) No. 3 駅周辺



#### まちづくりの方向性

- 様々な都市機能の集積による中心地の形成
- 歩いて楽しめるまちづくり
- 企業・宿泊施設・飲食店等の誘導

※本イメージ図は将来的な建築物や道路等の配置を示すものではありません。

20

仮称No.3駅については、人と人、人と自然、人と物が集まり、交差し、広がっていく中心地になってほしいという意見をいただきました。

これを踏まえまして、将来像のキャッチフレーズは、「ここから広がるクロスポイント」と、とりまとめました。

これに対するまちづくりの方向性としては、様々な都市機能の集積による中心地の形成を図ることなどを想定しています。

## 武蔵村山市のまちづくりについて 【沿線のまちづくり】

(市民ワークショップにおける意見)

### 桜舞う憩いのまち

- 桜並木を活かしたまちづくり
- 自転車道等を活かしたアクティビティやコミュニティの場を通じて憩えるまち

(仮称) No. 4 駅周辺



### まちづくりの方向性

- 桜並木を活かした魅力づくり
- 野山北公園自転車道のリニューアル
- ウォーキング・サイクリング等の拠点づくり

※本イメージ図は将来的な建築物や道路等の配置を示すものではありません。

21

仮称No.4駅については、野山北公園自転車道の桜並木という地域最大の魅力を活かしてほしいという意見や、自転車道を活かしたアクティビティやコミュニティの場を通じて、人々が憩えるまちになってほしいという意見をいただきました。

これを踏まえまして、将来像のキャッチフレーズは、「桜舞う憩いのまち」と、とりまとめました。

これに対するまちづくりの方向性としては、桜並木を活かした魅力づくりを進めていくことなどを想定しています。

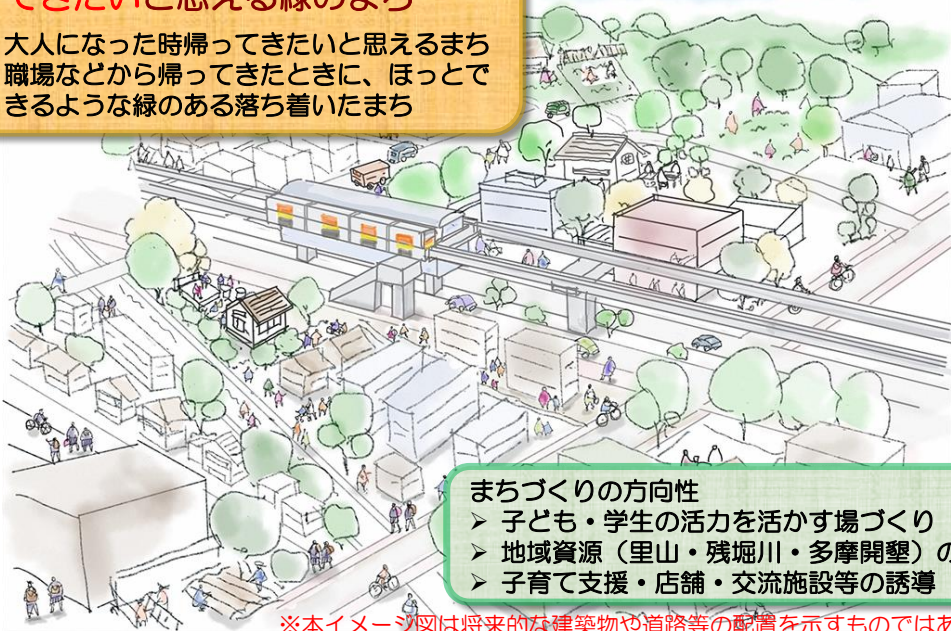
## 武蔵村山市のまちづくりについて【沿線のまちづくり】

(市民ワークショップにおける意見)

### 帰ってきたいと思える緑のまち

- 大人になった時帰ってきたいと思えるまち
- 職場などから帰ってきたときに、ほっとできるような緑のある落ち着いたまち

(仮称) No. 5 駅周辺



### まちづくりの方向性

- 子ども・学生の活力を活かす場づくり
- 地域資源（里山・残堀川・多摩開墾）の活用
- 子育て支援・店舗・交流施設等の誘導

※本イメージ図は将来的な建築物や道路等の配置を示すものではありません。

22

仮称No.5駅については、子どもや学生が里山や残堀川などの豊かな自然の中で伸び伸びと育ち、大人になった時にまた帰ってきたくなるようなまちや、職場や学校などから帰ってきたときにほっとできるような、緑のある落ち着いたまちになってほしいという意見をいただきました。

これを踏まえまして、将来像のキャッチフレーズは、「帰ってきたいと思える緑のまち」と、とりまとめました。

これに対するまちづくりの方向性としては、子ども・学生の活力を活かす場づくりを進めていくことなどを想定しています。

## 武蔵村山市のまちづくりについて【沿線のまちづくり】

### ■沿線のまちづくりの進め方

令和4年度

市民意向調査アンケート（令和4年11月～令和5年1月実施）

令和5年度

市民ワークショップ（令和5年6月～7月開催）等

令和6年度

**（仮称）多摩都市モノレール沿線まちづくり方針策定**

まちづくり

・まちづくり協議会の設置等により、駅ごとにまちづくり計画等を検討・策定

- ・土地利用に関する制限（用途地域等）の変更等によるまちづくりの誘導
- ・モノレール延伸後を見据えた公共交通に関する計画の策定及び公共交通の再編
- ・自転車駐車場（各駅）、駅前広場及びバスベイ等の基盤整備 ・企業の誘致

**多摩都市モノレール延伸部の開業**

市民ワークショップやアンケートの結果等（など）の内容を踏まえ、令和6年度には仮称多摩都市モノレール沿線まちづくり方針を策定します。

その後、多摩都市モノレール延伸部の開業に向けて、まちづくり協議会の設置等（など）により、市民と協働で駅ごとのまちづくりを進めてまいります。

## 東大和市のまちづくりについて

次に、東大和市のまちづくりについて、説明いたします。



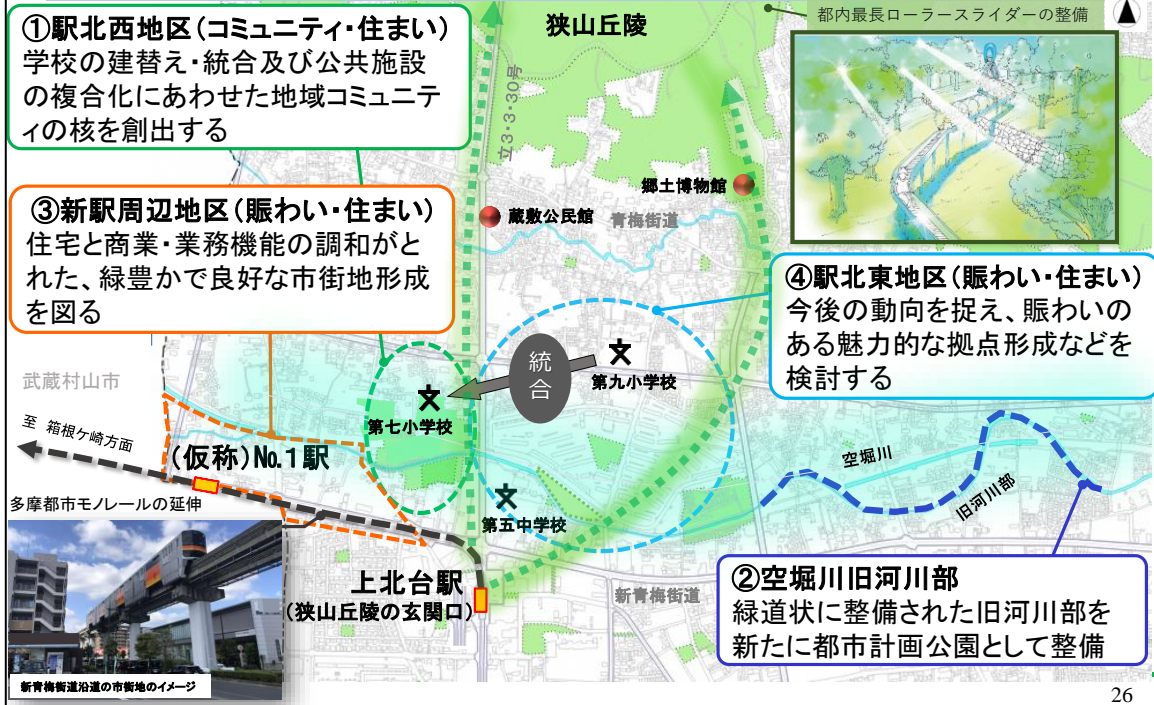
# 東大和市のまちづくりについて



東大和市内には、仮称No.1駅が整備される予定です。

# 東大和市のまちづくりについて

「上北台駅北側地域の魅力あるまちづくりと空堀川周辺のみどりの再編の方向性」(案)



多摩都市モノレール延伸部の起点となる上北台駅の北側地域のまちづくりについて説明いたします。

市では、多摩都市モノレールの延伸に伴うまちづくりの機運の高まりを捉え、上北台駅を「狭山丘陵の玄関口」として位置付け、賑わいのある魅力的な拠点形成や狭山丘陵へのネットワークの強化などを図るまちづくりを進めていくこととしています。

また、当該地域は、多摩湖やその周辺にある狭山丘陵などの自然環境を身近に感じることができる良好な住宅地や、一部緑道状に整備された空堀川旧河川部などの散策環境を備えた住宅地が形成されています。

これらの状況を踏まえ、市では当該地域の目指すべき将来像を実現するため、「上北台駅北側地域の魅力あるまちづくりと空堀川周辺のみどりの再編の方向性(案)」を作成しました。

各地区①から④のまちづくりの方向性はスライドに記載のとおりです。

また、狭山丘陵においては、「多くの人がみどりと親しめる場」としての魅力向上を図るため、都内最長となるローラースライダーの整備などを進めていく予定です。

なお、令和5年10月から市内全域を対象に回遊性の向上及び地域の活性化等を図ることを目的にシェアサイクルの実証実験を開始しました。

# 東大和市のまちづくりについて

## 上北台駅北側地域の段階的なまちづくり(スケジュール)

令和5年度

- 上北台駅北側地域の魅力あるまちづくりと空堀川周辺のみどりの再編の方向性(案)  
・市民説明会及びパブリックコメントを実施【10月】⇒年度内策定予定

|  | 令和5年度  | 令和8年度   |
|--|--|---|
| 「まちづくりの方向性」<br>駅北側地域と空堀川周辺   | 策定手続き<br> | 見直し  見直し     |
|  ① 駅北西地区のまちづくり<br>(地区計画等)       | 準備        | 都市計画手続き    |
|  ② 空堀川周辺のみどりの再編<br>(都市計画公園の指定等) |  | 都市計画手続き  公園整備  |
|  ③ 新駅周辺地区のまちづくり                 |  | 検討    |
|  ④ 駅北東地区のまちづくり                  |  | 検討   |

27

次に、上北台駅北側地域の段階的なまちづくりのスケジュールについてです。

「上北台駅北側地域の魅力あるまちづくりと空堀川周辺のみどりの再編の方向性(案)」については、10月に市民説明会やパブリックコメントを実施し令和5年度中に策定する予定です。

当該地域では、多摩都市モノレールの延伸に加え、学校の統合や河川整備の動向を捉えつつ、各種事業と連携を図りながらまちづくりを進める必要があります。「まちづくりの方向性」の4つの対象区域のうち、①駅北西地区のまちづくりと並行して②空堀川周辺のみどりの再編の方向性を定め、地区計画の策定等の都市計画手続きを令和8年度を目途に進めていく予定です。

③新駅周辺地区及び④駅北東地区については、今後の土地利用や都市基盤整備の動向などを捉えつつ、「まちづくりの方向性」の見直しなどを適宜行いながら、当該地域のまちづくりを段階的に進めていく予定です。

## 瑞穂町のまちづくりについて

最後に、瑞穂町(まち)のまちづくりについて、説明いたします。

## 瑞穂町のまちづくりについて



瑞穂町(ちょう)内には、仮称No.6駅と仮称No.7駅が整備される予定です。

今後、瑞穂町(まち)では、延伸事業と一体となった駅周辺及び沿線のまちづくりに着手いたします。

# 瑞穂町のまちづくりについて

## (仮称)No.6駅周辺のまちづくり方針

農・商・工のデジタル化を軸とした、将来の瑞穂町を牽引する

『稼ぐ』まちづくりの推進

### ● 駅前のにぎわい創出

- 沿道商業の集積
- 交通結節点の形成

### ● 区画整理の早期完了

- 工業・流通業務地の形成
- 産業近代化拠点との連携

### ● 産業近代化拠点の形成

- 最先端産業の導入による多摩地域のイノベーション拠点の形成
- 地域体育施設を介した交流の促進

### ● 交通ネットワークの強化

- 新駅と連絡する骨格道路網の形成



出典: 瑞穂町多摩都市モノレール新駅周辺まちづくり基本構想(案) / 令和5年7月

はじめに、仮称No.6駅周辺のまちづくりについて、説明いたします。

町では、新駅南西側の武蔵地区において、農業・商業・工業のデジタル化を軸とした、産業近代化拠点の形成や誰もが利用できる体育施設等について、関係機関及び地域の皆様のご意見を伺いながら、整備の検討を進めていきます。

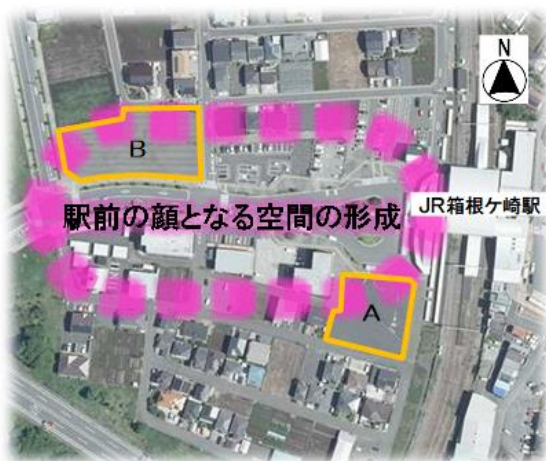
加えて、水色の地区で施行(せこう)している殿ヶ谷土地区画整理事業の早期完了を目指すとともに、

新駅への交通アクセス向上を図るため、赤色の点線の矢印で示した福生3・5・23号石畑中央線の青梅街道から新青梅街道までの区間について、優先的に整備を進めます。

# 瑞穂町のまちづくりについて

## (仮称)No.7 駅周辺のまちづくり方針

- ① 回遊性の向上とにぎわいの創出
- ② 西口駅前空間(公有地)の活用
- ③ 地域交流の活性化



公有地A(約1,600㎡)



公有地B(約2,300㎡)

次に、仮称No.7駅周辺のまちづくりについて、説明いたします。

JR箱根ヶ崎駅西口においては、駅周辺の回遊性の向上や賑わい創出に向けて、駅前公有地を活用した、新たなコミュニティ拠点を形成します。

写真の2箇所の公有地を活用し、各種イベントの実施や暫定インフラ整備など、地域の方々と協働した取組を展開していきます。

# 瑞穂町のまちづくりについて

## (仮称)No.7駅周辺のまちづくり方針

- ① 新駅設置に合わせた駅前広場の再編
- ② JR箱根ヶ崎駅～多摩モノレール新駅間における乗換連絡通路の整備
- ③ 駅前への商業・業務施設の集積による魅力と賑わいの創出



連絡通路(イメージ)

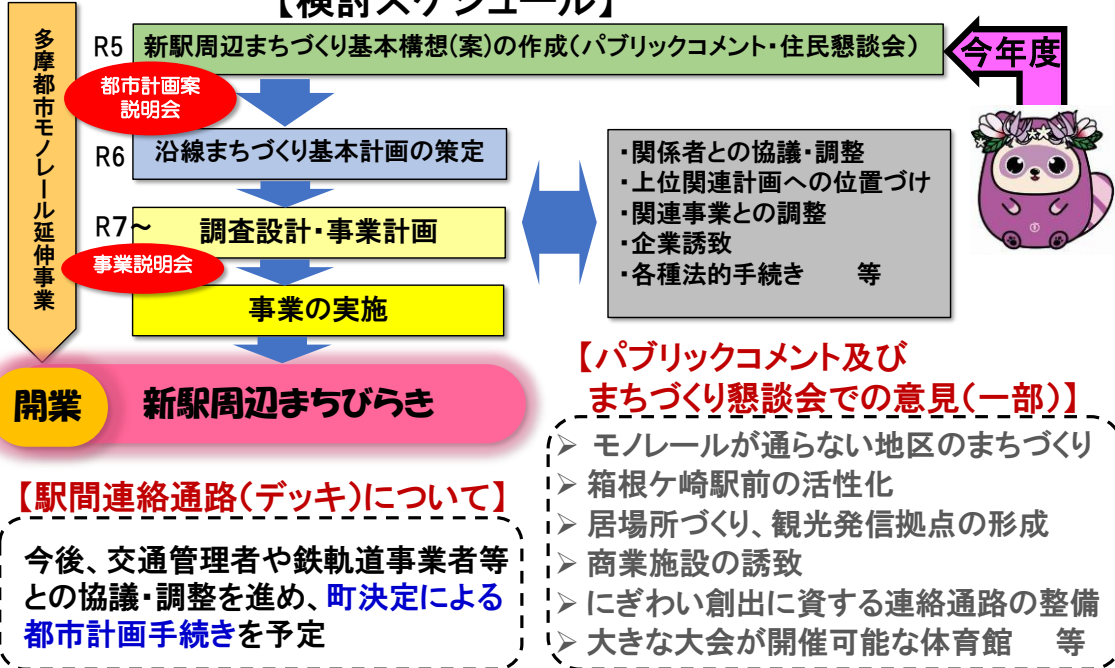
JR箱根ヶ崎駅東口においては、仮称No.7駅の整備に合わせて、駅前広場の再編を行うとともに、両駅間をつなぐ連絡通路を整備します。

また、駅前への商業・業務施設の集積を図るなど、新たな人の流れを意識した、魅力あるまちづくりに取り組んでまいります。



# 瑞穂町のまちづくりについて

## 【検討スケジュール】



最後に、今後の検討スケジュールについて、説明いたします。

令和5年7月に新駅周辺まちづくり基本構想案を作成し、パブリックコメントや住民懇談会を実施しました。いただいたご意見も踏まえつつ、令和6年度には、新駅周辺だけでなく、町全体を見通したまちづくり基本計画の策定を予定しています。

なお、連絡通路については、多摩都市モノレール延伸計画とは別に、町決定による都市計画手続きを進めていく予定です。

## お問い合わせ先

### ○武蔵村山市のまちづくりに関すること

武蔵村山市 都市整備部 交通企画・モノレール推進課

電話:042(565)1111 内線279

### ○東大和市のまちづくりに関すること

東大和市 まちづくり部 都市づくり課

電話:042(563)2111 内線1254

### ○瑞穂町のまちづくりに関すること

瑞穂町 都市整備部 都市計画課

電話:042(513)9379

最後に、市町の問い合わせ先になります。

以上で、関係市町(しちょう)のまちづくりに関する説明を終了いたします。

皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

引き続き、住民の皆様のご意見を聴きながら、モノレールの延伸後を見据えた持続可能なまちづくりを進めてまいります。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。